

ASTAP 議長 (2014 年 8 月選出(新任)) 前田 洋一氏 (TTC) に聞く

【読者のための豆知識】

ASTAP の活動内容：

APT 地域における標準化に関する協調連携
とグローバル標準化への貢献を目的とし
た APT における作業プログラム

=== === === === === === === === ===

専門領域: 伝送系電気通信ネットワーク、標準化マネジメント

略歴: 1980 年 静岡大学大学院工学研究科 修士修了
1980 年 日本電信電話公社(現 NTT)電気通信研究所 入社
1988 年 英国電気通信研究所(BT)交換研究員留学(1年間)
2001 年 ITU-T SG13 副議長(任期4年間)
2005 年 ITU-T SG15 議長(任期8年間)
2006 年 INTTアドバンステクノロジー株式会社
2010 年 社団法人 情報通信技術委員会(TTC)専務理事
2010 年 XGP フォーラム 議長(4期目継続中)
2013 年 ITU-T Review Committee 議長(任期4年間)
2014 年 アジア太平洋電気通信共同体 ASTAP 議長(1期目継続中)
一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事専務理事(現職)

=== === === === === === === === ===



— APT 議長職という重責を担われていることについて任命を受けられた際のお気持ちと、それ以降の感想をお聞かせ下さい。

(前田) アジア諸国の提案を国際標準に反映するために、APT の 38 カ国加盟国の連携による地域の団結力を生かした標準化活動の推進を図る標準化連携戦略が重要であり、日本は、韓国と中国と連携し、リーダーシップを発揮する責務があります。

— 現在の議長職の任期はいつまでですか？また、御自身の担当領域と経歴、APT との関わり、その他標準化機関での活動を教えてください。

(前田) 現時点での任期は一期二年で最大二期までの規定であり、2017 年 3 月の ASTAP-28 会合で二期目の継続か否かの判断が行われる予定です。

— APT での活動は、私達の情報通信・放送分野における発展に非常に重要な役割があると思いますが、現在の職責における最重要テーマ・課題はどのような事でしょうか？

(前田) 標準化を活用した地域にふさわしい新規ビジネスの創出に貢献することです。標準化技術としては以下の課題を扱っています。Bridging Standardization Gap, Green ICT, EMF Exposure, M2M, Future Network, NGN, Seamless Access Communication, Multimedia Applications, Information Security, SNLP, Accessibility and Usability, and Conformance and Interoperability (C&I).

— 議長としての目標達成のためにどのような点に力点を置いて活動される予定ですか？

(前田) 標準化は目的でもゴールではなく、ビジネスにおける活用手段です。会員企業のビジネス創造に貢献できることが目標です。その実現方法として、国際標準化機関である ITU-T と APT・ASTAP との連携を図るとともに、最新市場動向の把握と ICT スキル向上のためのテーマやイベントに積極的に取り組んでいきます。

— 議長としての難しさや壁(障壁)、そうしたことへの対処方法はどうお考えですか？

(前田) 日中韓で連携したリーダーシップの発揮と信頼の確保のためのヒューマンコミュニケーションの活用だと考えています。

— わが国、各加盟国の政府関係や ICT 産業界からの理解や協力が大変重要で必要なものだと思いますが、これについての期待をお聞かせください。

(前田) ICT グローバル市場としてのアジア地域の活用を念頭においた日本企業の存在感のより積極的なアピールの場として活用してほしいと思っています。また、後継者を含めた人材育成が重要です。

— 他国の政府や事業者などとの協調・協力が不可欠だと思いますが、議長としてこうした加盟国(事業体)に対して期待することはどのようなことがありますか。

(前田) 政治的な壁を乗り越えた標準化を通じた技術ベースの連携の場としての活用です。

— 個人的な信条とか、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

(前田) のんびりした時間の確保から始めないとダメかな、と反省しています。

— このインタビューにお時間を割いていただき有難うございました。これからの一層のご活躍をお祈りしております。読者の方へのメッセージがあればお聞かせください。

(前田) 議長としての目標とか考え方を問われますが、言葉にできるのは表面的なもので、あまり尋ねられても読者に面白い話は出来かねます。議長が扱う課題も予測不能な時代が訪れています。先入観を持たず、まずは人の言うことに耳を傾け、公平な判断を下すことが重要と考えます。

文責:(一財)日本 ITU 協会(M)